

A study of music therapy for chronic schizophrenia patients

浅野, 雅子
九州大学大学院芸術工学府

<https://doi.org/10.15017/19749>

出版情報 : 九州大学, 2010, 博士 (芸術工学), 課程博士
バージョン :
権利関係 :

謝辞

筆者は、作業療法士として臨床活動に従事する中で、日々接する患者さん達の音楽に対する親和性の高さや、筆者が弾くピアノに合わせて嬉しそうに歌を歌う笑顔に触れ、音楽の持つ治療効果に注目するようになり、音楽療法の研究を行うに至った。今回まとめた実践研究は、臨床時代の経験が基礎となっていることはいまでもない。市立室蘭総合病院時代の長谷部夏子医師、滝口緑臨床心理士、八雲総合病院リハビリテーション課の小岩伸之氏、富樫由美子氏、相木淳子氏の皆様はともに実践活動を行ってきた同僚である。特に長谷部医師は、初めて音楽療法を行う機会を与えて頂いただけでなく、自身が音楽療法士になる道筋を示して下さい、後に、修士時代の共同研究の場の提供もして下さい。皆様に心より感謝致します。

また、札幌医科大学大学院保健医療学部臨床作業療法学講座講師の竹田里江先生には修士時代はもとより、修了後も的確かつ丁寧なご指導、ご助言を賜りましたこと、深く感謝申し上げます。さらに、この時同じ研究室に所属し、園芸療法の研究をされている、兵庫県立大学客員准教授の杉原式穂氏には数々のディスカッションを通し、本当に多くの示唆を頂いた。心より感謝致します。

本研究の実施にあたり、多大なるご理解、ご配慮を頂きました、(特定)医療法人社団 林下病院の院長 林下忠行医師、並びに、音楽療法実践のご協力を頂きました、作業療法主任の市島勝一氏、その他、研究にご協力頂いた医師、看護師、作業療法士スタッフの皆様、そして、何よりも活動に参加して頂きました、入院患者の皆様は深く感謝申し上げます。同様に、国立病院機構 肥前精神医療センターの佐伯祐一医師、並びに音楽療法実践のご協力を頂きました、作業療法主任の福井基孔氏、塚原宏恵氏(現 国立病院機構 琉球病院)、高戸美紀氏(現 国立病院機構 琉球病院)、西九州大学リハビリテーション学部講師の小松洋平氏、その他、研究にご協力頂きました医師、看護師、作業療法士スタッフの皆様、そして、何よりも活動に参加して頂きました入院患者の皆様は深く感謝申し上げます。

さらに、在職中に博士課程に在籍することに理解を示して下さいました、西九州大学の皆様は感謝申し上げます。中でもリハビリテーション学部教授の佐藤陽彦先生には進学に関するご助言のみならず、研究活動が継続できるよう陰

ながら沢山のご支援を頂けた。深く感謝致します。

そして、本研究の実施にあたり、いつまでも纏まりきらない私の漠然とした思いや願いに対し、いつも明確な助言と的確な方向性を示して下さい、終始ご指導とご校閲を賜りました九州大学大学院芸術工学部教授の中島祥好先生に心より感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。また、中島研究室の皆様やシニアセミナーの皆様にも深謝致します。

最後に、お互いに論文を完遂させるために学業の神巡りを行った仲間と、あちこちと移動ばかりし、なかなか親孝行のできない私を温かく見守ってくれた家族に感謝を捧げます。